

家 庭

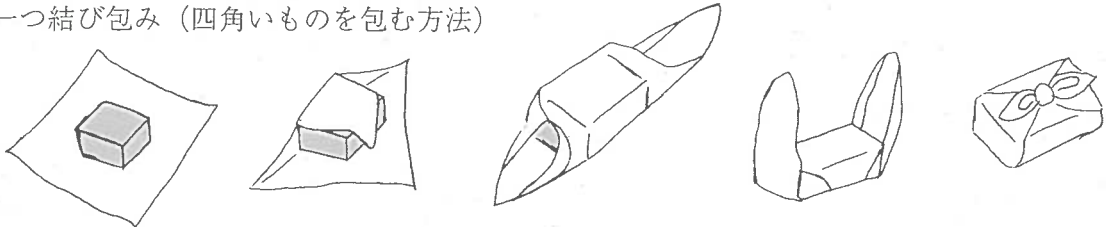
教科

家庭 01

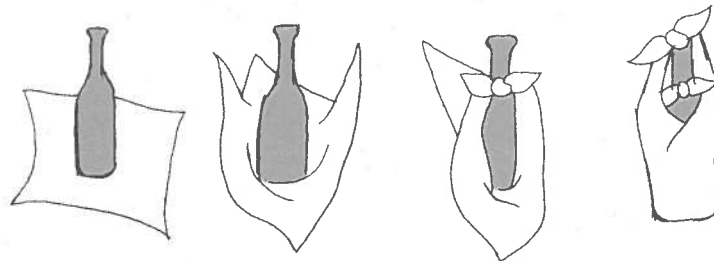
風呂敷で色々なものを包んでみよう

対象人数	10人
所要時間	30分
準備するもの	風呂敷
ねらい・効果	日本伝統の風呂敷を見直すことで、包装紙やビニル袋の過剰使用を考え、日常生活で使える技術を身につける

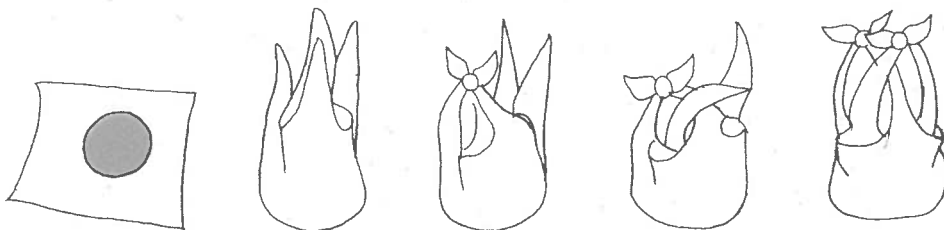
①一つ結び包み（四角いものを包む方法）



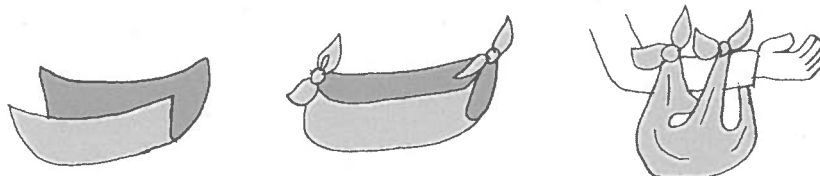
②一本手提げ（ビンやペットボトルなどを包む方法）



③スイカ袋（丸いものを包む方法）



④お買い物包み（手提げバックをつくる方法）



《発展・応用》

1枚の布から、色々なものが包めることを知ることで、楽しみながら、エコについて考えるようになることを期待する。他にもたくさんの包み方があるので調べていくと、バリエーションも広がっていき、子ども同士で交流し合うこともできる。

教科

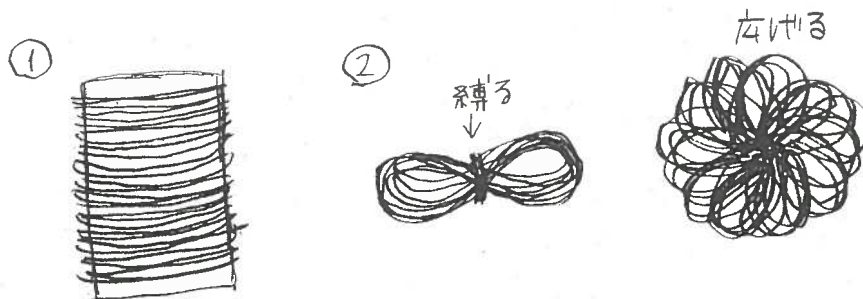
家庭 02

アクリルたわし作り

対象人数	1～10人
所要時間	10～15分
準備するもの	アクリル100%の毛糸
ねらい・効果	アクリルたわしを作ることを通して、環境に興味をもち、自ら洗い物をしたり、掃除をしたりする意欲につなげる

《作り方》

- ①アクリル100%の毛糸を適当な大きさ（手やはがきなど）に30～40回ほどグルグル巻きます。大きさは、使い勝手にあわせて巻くもので調節する。
- ②中心をしっかりと縛って、束を広げる。



※アクリルの細かい繊維のたくさんの溝が汚れを取って、吸着してくれる

※アクリル100%の毛糸で編んだお掃除グッズ。

※洗剤不要の不思議なタワシで、別名＝「エコたわし」、「環境たわし」、「マジッククロス」とも呼ばれ、環境に優しいタワシ。

※洗い物だけではなく、掃除にも使うことができる。

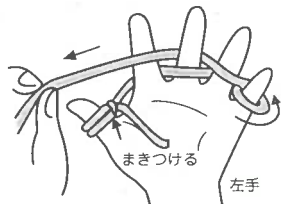
※しっかりしぼる場面では、大人の補助が必要な場合もある。

《発展・応用》

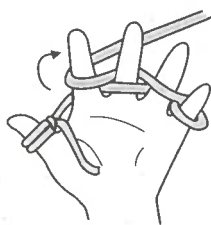
自分で作ったアクリルたわしで実際に洗い物や掃除をしてみることで、家庭での実践力につなげることができる。

ゆびあみにちょうせん!

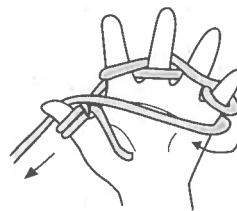
対象人数	1人以上
所要時間	1時間～
準備するもの	並太～極太の毛糸(太いほうが扱いやすい)
ねらい・効果	道具を使わず、手指を使って編むことを体験し、生活の知恵を学ぶ



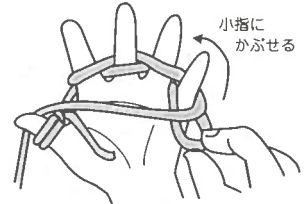
①糸端を左手の親指に2～3回巻きつけ、人さし指の向こう側から交互に4本の指に糸をかける。



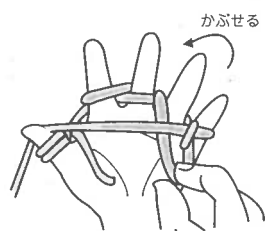
②人さし指でぐるりと回して4本の指の向こう側に糸を渡す。



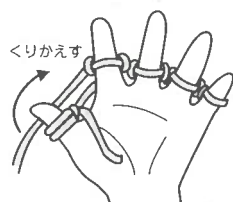
③小指から手前側に糸を持ってきて親指の背側にたらす。



④右手で小指に巻きつけている糸を横糸の下から引き出し、引き出した糸のループを小指にかぶせる。



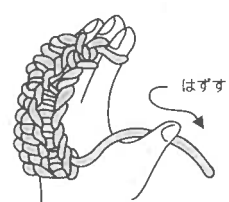
⑤薬指、中指、人さし指も同様に、横糸の下からループを引き出してそれぞれの指にかぶせる。



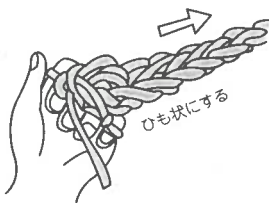
⑥また、②③のように糸を渡し、小指から糸をかけかえる。これをくり返す。



⑦②～⑥をくり返して編む。編み地は手の甲側にたまる。



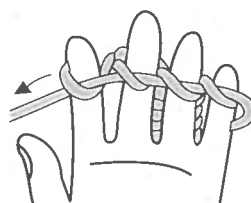
⑧ある程度編み進んだら、親指に巻きつけておいた糸をはずす。



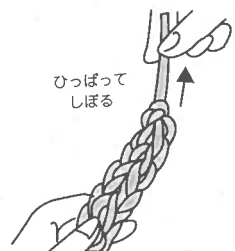
⑨必要な長さまで編んだら、編み地を引っぱってひも状に整える。



⑩編み終わりの糸端を、小指にかかっている目の上側からくぐらせる。



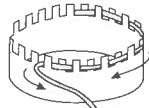
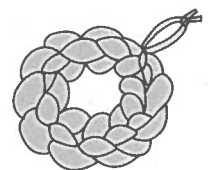
⑪薬指、中指、人さし指の順で同様にくぐらせる。



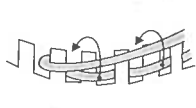
⑫4本の指にかかっていた編み目をはずし、人さし指に通した糸端を引っぱってしぼる。

《発展・応用》

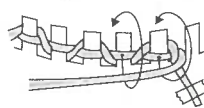
- ・アクリル100%の毛糸でゆびあみのひもを作り、それをくさり編みにしたものを輪にすると、アクリルたわしになる。
- ・牛乳パックなどの厚紙で、下図のような枠を作ると、両手が自由に使える。また、マフラー等の長い作品も作ることができる。



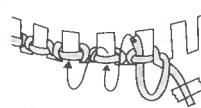
①自分のつくりたいマフラーの幅に合わせ凸の外側・内側へと交互に糸をかける(幅とちがひ1周する必要はない)。



②凸の外側にかかっている1周目の糸をひろい、2周目の糸の上にし、凸の上に掛けて編む。



③作り目ができたら、次からは凸の外側にかかっている、すべての糸をひろい、往復しながら編んでゆく。



④必要などころまで編んだら、図のように糸の端を凸の外側にかかっている糸の下からくぐらせる。



⑤すべてをくぐせたらキットからはずす。形を整え、両方の糸の端を編みこんで完成。

教科

家庭 04

プチはたきでおそうじ

対象人数	1人以上
所要時間	30分～1時間
準備するもの	荷造り等に使うポリプロピレン製のひも、ひもを巻くもの（CDケースが最適）、ストロー、輪ゴム、わりばし、はさみ
ねらい・効果	身近なものを利用してお掃除グッズをつくることで、手作りする楽しさを味わったり、掃除に対する意欲を高めたりする

《作り方》

1. ひもをCDケースなどのまわりに30回ほど巻く。
 - ・はずす時のことを考えて、すこしゆるめに巻く。
 - ・長さをあわせるために、まず10回くっつけて並べるように巻いて、その後その上に10回重ねながらもどってきて、最後にもう10回巻き進める。
2. CDケースからはずして、くずれないようにしっかりと握り、半分の位置に輪ゴムをきつめに巻く。このとき、曲がるストローをはさんでおく。
3. 持ち手にするわりばしをストローの中に入れ、輪ゴムで固定する。
4. ひもの輪になっている部分をはさみで切り、1本1本を細く裂いてふわふわに開いたら、完成。

《発展・応用》

- ・パソコンやテレビ等のホコリ取りに最適です。
- ・ポリプロピレン製のひもで作るので、その静電気の力でホコリを吸着します。

教 科

家庭 05

野菜あわせゲーム

対 象 人 数	3～5人
所 要 時 間	10分
準 備 す る も の	野菜のカード
ね ら い ・ 効 果	野菜の絵や写真のカードと名前のカードを合わせることで、遊びを通して、野菜の名前を覚える

《遊び方【1】》

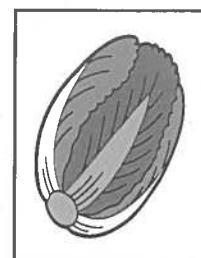
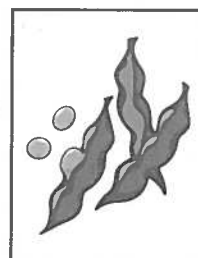
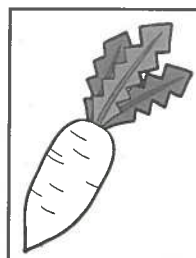
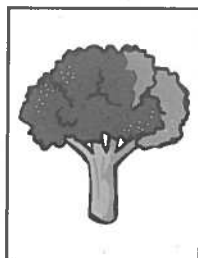
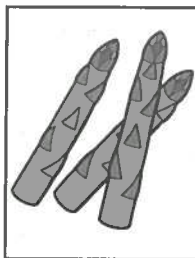
野菜の名前をよんで、カードを取る。

《遊び方【2】》

- ①カードに描いている絵（写真）が見えないようにひっくり返して置く。
- ②絵（写真）のカードをひっくり返して絵（写真）を出す。
- ③絵（写真）を見て、名前の書いているカードを取る。

《遊び方【3】》

- ①カードに描いている絵（写真）とカードに書いている名前が見えないようにひっくり返して置く。
- ②絵（写真）のカードをひっくり返して絵（写真）を出す。
- ③名前のカードをひっくり返し、名前を出す。
- ④カードの絵（写真）と名前が合ったらそのカードを取る。



ア
ス
パ
ラ
ガ
ス

ブ
ロ
ッ
コ
リ
ー

だ
い
こ
ん

さ
や
え
ん
ど
う

は
く
さ
い

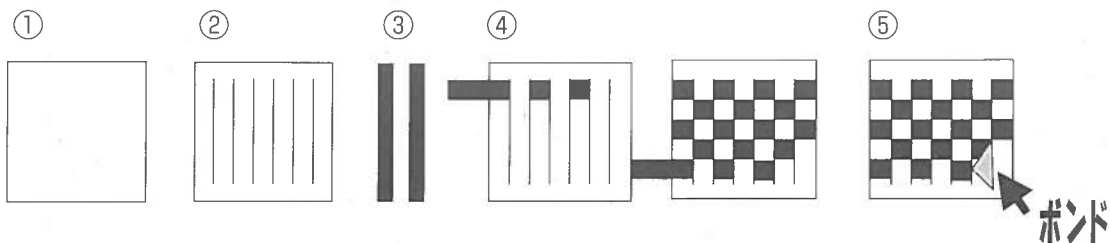
《発展・応用》

根の野菜や葉の野菜などに分類させたり、カレーに入っている野菜など、料理に含まれる野菜を探したりすることができる。

コースターをつくろう

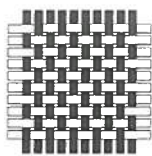
対象人数	1～20人
所要時間	1時間
準備するもの	フェルトや色紙・色画用紙など、ボンド
ねらい・効果	色の組み合わせを考えて、コースターをつくることを通して、織物の織り方についての理解を深める

- ①フェルト（色紙・色画用紙）を用意する
- ②端から1～2cm残して切り込みを入れる。
- ③切り込みと同じ幅のフェルト（色紙・色画用紙）を用意する。
- ④模様を考えながら、織りこんでいく。（工夫しだいで楽しい模様ができる）
- ⑤端をボンドなどで止める。

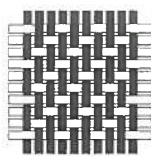


三原組織

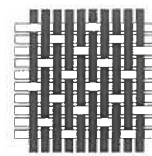
平織・・・経糸、横糸が交互に規則的組み合ったもの
 綾織・・・綾目に特徴がある。（ジーンズの織り方）数え切れないほどの種類ができ、出来た織の模様が斜めに見える特徴がある。
 朱子織・・・規則的な飛び方をする織り方。



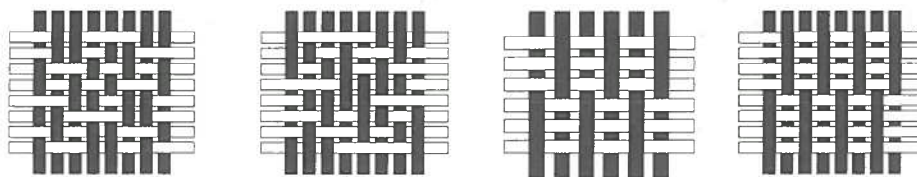
平織



綾織



朱子織



三原組織ではない工夫した織り方

《発展・応用》

台紙の形状を、四角形だけではなく、ひし型、ハート型にも挑戦することが可能で、バリエーションを広げることができる。

教科

家庭 07

家の中にあるものを知ろう

対象人数	10人
所要時間	15～30分
準備するもの	紙、えんぴつ、ひらがなのカード(46文字分)やカルタ
ねらい・効果	家の中にあるものを見つける活動を通して、その名前を知り、役割について興味をもつ

- ①制限時間を決める。
- ②制限時間の中で、部屋の中にあるものをたくさん見つけて名前を書く
- ③ひらがなのカードをよくきって、1枚めくる。
- ④出たひらがなに印をつける。
- ⑤これを5～10回程度くりかえす。
- ⑥どんなものがあるのかを話すことで、ものの名前を知り、何をするものかを考える機会になる。
- ⑦印の多い人が勝ちとなる。

②

たんす
おさら
コップ
本(ほん)
ボール
えんぴつ
けしごむ
つくえ

③

つ

④

たんす
おさら
コップ
本(ほん)
ボール
えんぴつ
けしごむ
◎つくえ

⑤

す

⑥

たんす
おさら
コップ
本(ほん)
ボール
えんぴつ
けしごむ
◎つくえ

《発展・応用》

同じように、野菜・果物・児童会館にあるものなどでも、遊ぶことができる。

教科

家庭 08

野菜ビンゴ

対象人数	5人以上
所要時間	30～40分
準備するもの	紙・鉛筆(1人1本)
ねらい・効果	野菜の名前を使ったビンゴゲームをすることで、いろいろな種類の野菜があることを楽しみながら知ることができる

《遊び方》

1. 用紙に方眼のマス目を書く。
子どもたちの実態に応じて、 3×3 、 4×4 、 5×5 とマス目の数を変えるとよい。
2. マス目に、野菜の名前を書く。
3. 書き終わったら、参加している子どもが順番に、自分の書いた野菜の名前を一つ言う。
他の子どもは、自分もその野菜の名前を書いていれば、そのマスをぬることができる。
4. 1列(又は2列)そろえば、勝ち。

《発展・応用》

- 野菜の名前が思いつかなければ、図鑑や本で調べたり、上の学年が下の学年に教えてあげたりするなどの工夫もできる。
- くだもの、魚の名前、家具・家電の名前などでも同様に行うことができる。

教 科

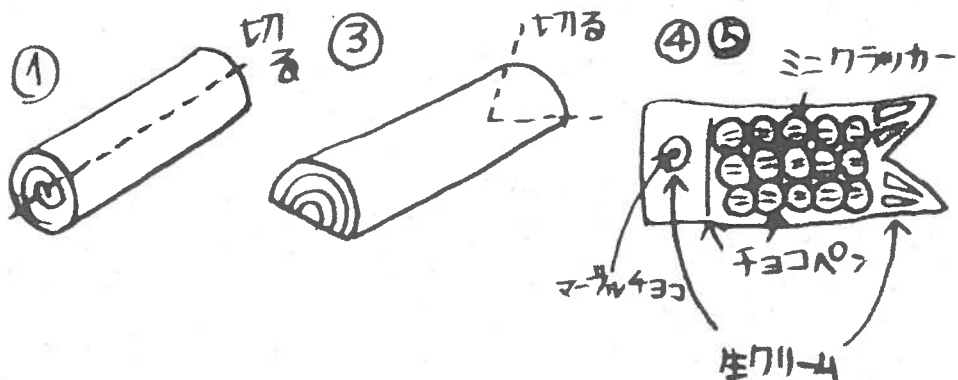
家庭 09

こいのぼりケーキ

対 象 人 数	5人以上
所 要 時 間	40～50分
準 備 す る も の	ロールケーキ（市販）…1本、生クリーム…100cc、砂糖…小さじ2、丸い形のミニクラッカー（またはビスケットやクッキー）…適量、マーブルチョコ…2こ、チョコペン…1本
ね ら い ・ 効 果	こどもの日の行事やイベントなどで、子どもが簡単に、楽しく作ることができる

《作り方》

- 市販のロールケーキを2対1の割合で大小をつけるように縦に切る。
- 生クリームは、砂糖を加えて泡立てる。
- 1のケーキをこいのぼりに見立てて、皿などにおき、尾の部分切る。
- こいのぼりの胴の部分に2を薄く塗り、ミニクラッカーをうろこのように並べる。
- チョコペンで、うろこの上に半円を描き、えらの部分に線を描く。
生クリームを目の部分に少量のせて、マーブルチョコで目をつける。
残りの生クリームで尾を飾る。



《発展・応用》

- 飾りつけの材料は、他のものでも代用できます。
- 作業が簡単なので、低学年の子どもでも調理に参加できます。
- 子どもの実態によっては、ロールケーキも自分たちで作るところから始めてもよいでしょう。
- 材料費がかかりますので、日常の実践は難しいと思われます。